

委託事業実施内容報告書
平成28年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム(B)】
実施内容報告書

団体名：公益財団法人とよなか国際交流協会

1. 事業の概要

事業名称	外国人の若者の生活力を地域ではぐくむ日本語サポート事業～わかもの×ちいき×いばしょ～プログラム
事業の目的	1. 外国人の若者が、安心して自らの生活上のニーズ(日本語、生活、労働など)を話し相談できる「居場所」を提供し、生活や自己表現を行う際に必要な日本語力を身につける。 2. (1)で身につけた日本語力を活用し、地域貢献や社会参画のきっかけとなるような、地域活動を自ら企画・運営する。 3. 潜在的に困難を抱えていると思われるが、活動につながるの外国人の若者との関係を構築・再構築し、(1)や(2)などその若者のニーズのそった活動への橋渡しを行う。
日本語教育活動に関する地域の実情・課題	豊中市(人口約40万人、外国人約4千7百人)では、市内各地で識字・日本語教室や日本語活動が実施され、市民による自主的な日本語活動も多数ある。公益財団法人とよなか国際交流協会(以下、協会)においても、地域の市民外国人の親子連れや労働者など大人向けの活動は日曜日を含む週5日、市内各地で開催している。これらは、地域在住の家庭を持つ親子や外国人労働者への日本語習得機会の提供において一定の役割を果たしているといえよう。
本事業の対象とする空白地域の状況	なし
事業内容の概要	3年間の成果をふまえながら、前述の3つの課題を解決していくため、以下の3つの取組を実施する。 取組①「～つちかうにほんご～わかもの×ちいき」では、生活者として地域に暮らす若者の中でも、特に日本語学習のニーズが高いと思われる全日制高校以外に通う若者(定時制高校、夜間中学校、通信制高校など)について、体系的な日本語の指導を行う。全日制高校以外に通う若者は、働きながら学業を続けている人も少なくない。また、夜間中学においても来年度より義務教育を修了した人でも入学が許可されたことで、外国人の若者の入学が増える可能性がある。しかし、特に就労や生活に関する日本語については学校で教わることはない。この取組では、学校や職場、地域NPOなどと連携を取りながら、全日制高校以外に所属する若者たちが、学校で学ぶ教科学習以外の生活者として必要な日本語力を身につけることを目的とする。 取組②「～とびだすにほんご～わかもの×いばしょ」では、過去3年間の取組で実施した日本語表現活動や対話の取組のエッセンスを集約したものとして、多様な実践活動に基づいた日本語習得の機会を提供する。具体的には、働く際に生活に必要な知識を学ぶ「しろう・まなぼう」編、自らの興味関心や想いを語り記録していく「かたり・つづろう」編、そして、自分たちの興味関心に基づいた活動を日本語で、提案・企画・運営するなかで、地域社会における実践をつうじて日本語を身につける「やってみよう」編の3つの実践活動をおこなう。さらに、日頃のちょっとした疑問などを気軽に尋ねることのできる「そうだんしてみよう」編を設け、多様な若者が気兼ねなく参加できるような工夫をする。本取組は、3年間の取組をよりよい形で継続するようにまとめ、より多くの若者にとって利用しやすい効果的な活動となることを目指すものである。 取組③「～つなげるにほんご～わかもの活動ボランティア養成講座」では、今後の活動を持続可能なものへと発展させるため、次世代につながる若者への日本語教育活動を担う人材を養成する。活動の持続可能性を念頭に、ボランティアとして活動の運営を担う市民の養成(ボランティア編)、若者が必要とする具体的な日本語のニーズを把握しながら日本語指導をおこなう日本語指導者の養成(日本語指導者編)、活動全体をデザインしながらボランティア、指導者らとの調整役となるコーディネーターの養成(コーディネーター編)の3つの養成講座を実施する。それぞれの取組では、各地の先進事例や同様の目的をもった活動事例の視察を行い、具体的な活動のイメージを持つとともに、持続可能な活動のデザインを参加者同士で検討していく形の受講者参加型の講座を目指す。 また、本取組で養成されたスタッフを中心に①、②をふくめた活動の検証を行い、活動の成果の発信と住民理解の場を得るためのイベントを開催する。
事業の実施期間	平成 28年 4月～平成 29年 3月(12か月間)

2. 事業の実施体制

(1)運営委員会

【運営委員】

1	杉山真紀	豊中市市民協働部くらし支援課
2	石井武	豊中市教育委員会
3	高橋明	豊中市人権政策課
4	榎谷光義	豊中市市民協働部
5	金生遵	豊中市教育委員会
6	榎井緑	大阪大学未来戦略機構
7	今井貴代子	大阪大学未来戦略機構
8	阿部寛	人権学習会「ぼちぼち」、社会福祉士
9	和田美穂	NPO法人ZUTTO
10	白砂明子	一般社団法人キャリアブリッジ
11	藤下功一	大阪府立桜塚高等学校定時制の部
12	橋本直樹	豊中市立第四中学校
13	山野上隆史	とよなか国際交流協会
14	金和永	とよなか国際交流協会
15	山本房代	とよなか国際交流協会

写真を貼ってください。

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	平成28年7月7日 (木) 14:00～16:00	2時間	とよなか国際交流センター	阿部寛委員、今井貴代子委員、榎井緑委員、白砂明子委員、杉山真紀委員、高橋明委員、橋本直樹委員、藤下功一委員、和田美穂委員、榎谷光義委員、金生遵委員、石井武委員、山野上隆史、山本房代	①2016年度事業の目的の共有 ②各機関・団体が有している情報やリソースの共有 ①について、これまでの成果と課題を踏まえ、日本語指導、若者のたまり場、支援者研修の三本立てで実施することとなった。 ②について、各機関がうまくつながれているわけではないが、外国人の若者が増えているのではないかと、まずは情報収集、共有が必要ではないかということが確認された。
2	平成28年11月14日(月) 13:30～15:30	2時間	とよなか国際交流センター	阿部寛委員、今井貴代子委員、榎井緑委員、白砂明子委員、杉山真紀委員、高橋明委員、橋本直樹委員、藤下功一委員、和田美穂委員、山野上隆史、山本房代、金和永	①2016年度事業の経過報告 ②地域に暮らす外国人の若者の状況について情報共有 ③各機関・団体が有している情報やリソースの共有 ①について、経過について情報共有し、検討した結果、定時制高校や夜間中学はニーズの掘り起こしに時間がかかること、若者のたまり場の中で相談を扱うことが重要であることが共有された。 ②について、引き続き、地域で増えている外国人の若者とどうつながるかということが課題であることが確認された。 ③について、市内の若者支援団体の取り組みについて知ることができた。評価について、数値化が困難な部分をどう見せるかが重要であることが確認された。

3	平成29年3月13日 (月) 10:30~12:30	2時間	とよなか国際交流センター	阿部寛委員、杉山眞紀委員、藤下功一委員、山野上隆史、山本房代、金和永	①2016年度の事業の報告 ②今年度の取組の課題と今後の展望について ①について、情報共有を行い、一年間の取組をふり返って、発信に力を入れていくことが重要であることが確認された。 ②について、定時制高校や夜間中学校とのつながりだけでなく、人の流れをどうやって作るかということが課題であることが確認された。一方で、参加者を募るだけでなく、定時制高校等と協力して生活の日本語の活動を実施するなど、今後の展開について一定の方向性が確認された。
---	----------------------------------	-----	--------------	------------------------------------	---

(2)地域における関係機関・団体等との連携・協力

連携体制	昨年度同様、地域における外国人支援、外国人教育、若者支援、就労支援、の各行政専門機関から運営委員を選出してもらうことで、それぞれの地域ネットワークを生かしたよりきめ細やかな連携体制の構築を目指す。さらに、平成28年度より地域で若者支援を担うNPO二団体、学校現場より二団体(中学校夜間学級・高等学校定時制)からも運営委員を担ってもらうことで、現場レベルでの連携を強化し、地域での日本語教育支援のネットワークのしくみづくりを進めていく。
------	--

(3)中核メンバー及び関係機関・団体による本事業の実施体制

本事業の実施体制	中核メンバーは、外国人の若者支援事業立ち上げの際から関わりのあるコーディネーターと事業担当者を中心に、豊中市や近隣地域の日本語教育の現状と課題をよく知るメンバーで構成されている。メンバーの半数を外国にルーツをもつ若者が占めることから、活動参加者にとってもピア(仲間)やロールモデル(目標となる人)として親しみやすい存在である。コーディネーターは、活動参加者の日本語課題の把握や目標設定へのデザインなどを日本語指導者との協力体制のもとで進めていく。事業担当者は、各事業の進捗状況や活動内容を把握したうえで、コーディネーター、指導者と関係諸機関との連携をすすめる調整役として事業運営全体のコーディネートをおこなう。
----------	--

3. 各取組の報告

＜取組1＞										
取組1	取組の名称		～つちかうにほんご～わかもの×ちいき							
	取組の目標		1. 学習意欲はあるものの体制が整わないために、日本語教育の機会に恵まれない外国人の若者にたいして体系的な日本語教育をおこなう。 2. 日本語教育についての高いニーズがある全日制高校以外（定時制高校、通信制高校、夜間中学校など）に通う15歳以上の外国人の若者を対象とし、関係機関との連携を取りながら地域ぐるみの支援体制を整備する。 3. 取組を通じて培った日本語を、地域活動や学校行事などの場面で活用し、日本語力の向上の成果を参加者自身の実感をともなう形で地域や参加者自身に還元する。							
	取組の内容		生活者として地域に暮らす若者の中でも、特に日本語学習のニーズが高いと思われる全日制高校以外（定時制高校、通信制高校、夜間中学校など）に通う若者について、体系的な日本語の指導を行う。全日制高校以外に通う若者は、働きながら学業を続けている人も多いが、職場や学校教育の場で日本語学習の機会は限られている。しかし、十分な日本語指導が受けられないために、学校や職場でのコミュニケーションや日常生活に支障をきたす場合もある。また、夜間中学においても来年度より義務教育を修了した人でも入学が許可されたことで、外国人の若者の入学が増える可能性がある。しかし、学校内での日本語指導体制は未整備の部分も多く、特に就労や生活に関する日本語については学校で教わることはない。この取組では、学校や職場、地域NPOなどと連携を取りながら、若者たちが生活者として必要な日本語力を身につけることを目的とする。 ●つちかうにほんごサポート（60回）： 週1回、2時間をめどに、継続的な日本語指導を行う。参加者自らが目標を立て、日本語指導者と共に日常生活課題などの参加者のニーズに応じた日本語の習得を目指す。外国人の若者にとってピア（仲間）やロールモデル（目標となる人）としての外国人の若者、もしくはできるだけ参加者の母語を解する日本人を日本語指導者とし、母語で質問や相談のできる環境を整え、日本語学習への意欲を保ち続けられるような環境を整える。 なお、活動にあたっては、参加者のニーズ（母語、生活環境）や母国・滞在国で受けてきた教育水準、これまでの日本語学習経験など、多様な背景の学習者が想定されるため、多様な母語に対応できるようピア指導者を配置して取り組む。							
	☐	空白地域を含む場合、空白地域での活動	該当なし							
	取組による体制整備		各参加者が所属する学校機関や地域の若者支援NPO（引きこもりなどの若者支援団体、若者サポートステーションなど）、豊中市教育委員会生涯学習部門、青少年関係部門、外国人教育部門などと連携を図りながら、若者の現状やニーズを把握し、長期的で包括的な地域若者支援ネットワークを現場レベルで構築する。							
	取組による日本語能力の向上		若者のニーズに応じた読み書き指導を中心に、コミュニケーションや対話も交えた生活に役立つ日本語指導を行う。定期的で恒常的な学習の場があることで、日本語学習を習慣づけ、自律的な日本語学習につなげる。学校や地域若者支援団体との連携を生かし、成果発表の場を参加者のかかわる多様な場面で設ける。							
	参加対象者		全日制以外の高校もしくは夜間中学校に通う外国にルーツをもつ若者				参加者数 （内 外国人数）	5人 （5人）		
	広報及び募集方法		学校教員や地域若者支援NPOを通じた紹介・チラシなどの配布、協会ホームページ、Facebook、チラシ、豊中市広報誌を通じた広報など							
	開催時間数		総時間 47 時間（空白地域 0 時間）				1回 2 時間 × 25 回 （うち、3回は1時間）			
	主な連携・協働先		豊中市、豊中市教育委員会、大阪府立桜塚高等学校、豊中市立第四中学校夜間学級、若者サポートステーション、地域若者支援NPOなど							
	開催場所		とよなか国際交流センター							
参加者の出身・国別内訳（人数）		中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル	
				3		1		1		
実施内容										
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容		指導者名	補助者名	
1	平成28年6月11日（土） 14:00～16:00	2	とよなか国際交流センター	2	日常生活で使う日本語	普段の生活について生活で気になる言葉について（動詞の使い分けなど）		ラッタナセリー ウォン・センティアン	なし	
2	平成28年6月18日（土） 14:00～16:00	2	とよなか国際交流センター	2	日常生活で使う日本語	普段の生活について生活で気になる言葉について（動詞の使い分けなどの続き）		ラッタナセリー ウォン・センティアン	なし	
3	平成28年7月9日（土） 14:00～16:00	2	とよなか国際交流センター	2	日常生活で使う日本語	普段の生活について生活で気になる言葉について（助詞の使い分けなど）		ラッタナセリー ウォン・センティアン	なし	
4	平成28年8月6日（土） 14:00～16:00	2	とよなか国際交流センター	2	働くための日本語	仕事や面接に必要な日本語、仕事の試験で必要な日本語など		清水敦子	なし	
5	平成28年8月13日（土） 14:00～16:00	2	とよなか国際交流センター	2	日常生活で使う日本語	生活で気になる言葉について（助詞や文法の確認）		清水敦子	なし	
6	平成28年8月20日（土） 14:00～16:00	2	とよなか国際交流センター	2	日常生活で使う日本語＆働くための日本語	普段の生活について仕事で必要な日本語について		清水敦子 垣花慧	なし	
7	平成28年8月27日（土） 14:00～16:00	2	とよなか国際交流センター	2	働くための日本語	社会人としての日本語について（敬語などを中心に）		清水敦子（14:00～15:00）／垣花慧（15:00～16:00）	なし	
8	平成28年9月3日（土） 14:00～16:00	2	とよなか国際交流センター	2	日常生活で使う日本語	生活で気になる言葉について（発音の練習など）		清水敦子（14:00～15:00）／垣花慧（15:00～16:00）	なし	

9	平成28年9月10日 (土) 10:00~12:00	2	とよなか国際交 流センター	2	日常生活で使う日本語 & 働 くための日本語	生活で気になることばについて(仕事 に関する日本語、販売に必要な日本語 など)※イベント「とよなか国際交流 フェスタ」での実践も行った。	清水敦子	なし
10	平成28年9月10日 (土) 14:00~16:00	2	とよなか国際交 流センター	2	日常生活で使う日本語 & 働 くための日本語	生活で気になることばについて(仕事 に関する日本語、初対面の人とのス ムーズな会話の練習など)※イベント 「とよなか国際交流フェスタ」での実践 も行った。	垣花慧	なし
11	平成28年9月17日 (土) 15:15~16:15	1	とよなか国際交 流センター	2	日常生活で使う日本語	生活で気になる言葉について(漢字に ついて)	清水敦子	なし
12	平成28年9月24日 (土) 15:00~16:00	1	とよなか国際交 流センター	2	日常生活で使う日本語 & 働 くための日本語	普段の生活について 生活で気になる言葉について(職場で の言葉づかいなど)	垣花慧	なし
13	平成28年10月1日 (土) 14:00~16:00	2	とよなか国際交 流センター	2	日常生活で使う日本語	生活で気になる言葉について(パソコ ンを使う上で必要になる言葉など)	清水敦子(14:00 ~15:00)/垣花 慧(15:00~16:00)	なし
14	平成28年10月8日 (土) 14:00~16:00	2	とよなか国際交 流センター	2	日常生活で使う日本語	生活で気になる言葉について(銀行の ATMの使い方、お金の使い方など)	清水敦子(14:00 ~15:00)/垣花 慧(15:00~16:00)	なし
15	平成28年10月15日 (土) 15:00~16:00	1	とよなか国際交 流センター	2	日常生活で使う日本語	普段の生活について 生活で気になる言葉について(丁寧な 言葉づかいなど)	垣花慧	なし
16	平成28年10月22日 (土) 14:00~16:00	2	とよなか国際交 流センター	2	日常生活で使う日本語	生活で気になる言葉について(パソコ ンを使う上で必要になる言葉など)	清水敦子(14:00 ~15:00)/垣花 慧(15:00~16:00)	なし
17	平成28年10月29日 (土) 14:00~16:00	2	とよなか国際交 流センター	2	日常生活で使う日本語	生活で気になる言葉について(性格 を表す語など)	清水敦子	なし
18	平成28年11月5日 (土) 14:00~16:00	2	とよなか国際交 流センター	2	働くための日本語	仕事の面接で使う日本語、作文で使う 日本語表現について	清水敦子	なし
19	平成28年11月12日 (土) 14:00~16:00	2	とよなか国際交 流センター	2	働くための日本語	仕事の面接の練習など	垣花慧	なし
20	平成28年11月19日 (土) 14:00~16:00	2	とよなか国際交 流センター	2	働くための日本語	仕事の面接の練習など	垣花慧	なし
21	平成28年11月26日 (土) 14:00~16:00	2	とよなか国際交 流センター	2	日常生活で使う日本語 & 働 くための日本語	生活で気になる言葉について(職場で のコミュニケーションなど)	垣花慧	なし
22	平成28年12月17日 (土) 14:00~16:00	2	とよなか国際交 流センター	2	日常生活で使う日本語	生活で気になる言葉について(人の気 持ち態度を表す語)	清水敦子	なし
23	平成28年1月14日 (土) 14:00~16:00	2	とよなか国際交 流センター	2	日常生活で使う日本語	生活で気になることばについて(日常 性かつで見かける漢字など)	清水敦子(14:00 ~15:00)/垣花 慧(15:00~16:00)	なし
24	平成29年2月11日 (土) 14:00~16:00	2	とよなか国際交 流センター	2	日常生活で使う日本語	生活で気になる言葉について(交通、 移動など)	清水敦子	なし
25	平成29年3月4日 (土) 14:00~16:00	2	とよなか国際交 流センター	2	日常生活で使う日本語	生活で気になる言葉について(道路標 識や運転に関するにほんごについて)	清水敦子	なし

(1)特徴的な活動風景(2~3回分)

※2回分を詳細に記載。また、活動内容を示す写真を本報告書に添付

○取組事例①

【第14回 平成28年10月8日】

生活で気になる言葉について、受講者が実際に生活の中で疑問に思ったり分からなかったりした日本語について学んだ。この日はATMで表示される単語の意味を学びながら、そもそもATMでどんなサービスが受けられるのかについて日本語で会話をしながら学んだ。また、普段のお金の使い道や貯金の仕方なども日本語とあわせて学んだ。



○取組事例②

【第25回 平成29年3月4日】

日本の道路標識や運転に関する日本語について学んだ。運転免許の取得に関心のある受講者もあり、より意欲的に学習する事が出来た。受講者にとって道路法規は生活するうえで必要不可欠なものだが学ぶ機会が少なく、道路標識を日本語で説明すると「自分が思っていた意味と違う」など驚いた表情を見せていた。

写真を貼る



写真



(2) 目標の達成状況・成果

※検証方法(アンケートや評価等)も含めて具体的に記載すること。

受講者は主に来日後まもなくして夜間高校などへ入学し、体系的な日本語教育を受ける機会が少なかった若者たちであった。受講者自身が日本で生活している上で実際に困ったり分からなかったりした場面を聞き、その時にどういった日本語が必要だったかを学習できた。またアンケートでもその多くが日本語が上達したと実感し、日本での生活がよりしやすくなったと回答している。
また本活動の枠を超え受講者が中心メンバーとなり身につけた日本語を活かして地域のお祭りに出店し綿菓子を使った。そこで日本語を使い利益を得ることで受講者は自信が付き、本活動にさらに意欲的に取り組めるという好循環も起こった。

(3) 今後の改善点について

※取組の内容や実施体制などについて改善すべき点を具体的に記載すること。

今年度繋がった受講者の通っている学校と連携を深め、学校に通っている他の日本語が必要な生徒と繋がるとともに、より広範で地域ぐるみの支援体制を整備する。イベントへ参加をより促し、受講者が地域で日本語を使える機会を積極的に増やしていきたい。

＜取組2＞										
取組2	取組の名称		～とびだすにほんご～わかもの×いばしょ							
	取組の目標		1. 外国人の若者が安心・安全に集うことができ、興味関心のあるテーマで日本語を通じた交流を気軽におこなうことのできる居場所を提供する。 2. 日本語を使いながら自らの興味関心・ニーズを表現し、活動の企画から実施・運営までをおこない、日本語力を活用しながら地域社会とつながる機会をつくる。							
	取組の内容		本取組は、過去3年間の取組で実施した表現活動や居場所の取組を集約したものと、若者たちの日本語での語りと交流の場（居場所）を若者のニーズを把握しながら提供する。さらに、自分たちの興味関心に基づいた活動を日本語で表現し、提案・企画・運営するなかで、地域社会とのつながりを意識しながら、日本語を活用する機会を設ける。 ●とびだすにほんご ◎しろろ・まなぼう編（15回）： 仕事に必要な日本語の敬語表現、日本での労働の実際や労働法についての講義をおこない、若者が働く際に必要な知識を日本語で学ぶ講座。また、地域で活躍する人を中心に、多様な職業、活動をしている人を講師に招き、地域や社会への認識をふかめ、日本における将来展望をイメージしやすいものにする。 ◎かたろう・つづろう編（15回）： 自分の興味関心のある事柄について、日本語で語り、文字として表現する日本語講座。日本語で自分自身の感情や思いを表現し、書き残すことで、さらに幅広い日本語の表現を身につける。また、参加者は互いに聴きあい、意見交流をおこなうしくみをつくり、参加者同士のコミュニケーションや関係づくりもおこなう。書かれた文章があることで、参加者のニーズや日本語力の定着の成果なども把握しながら、活動を進めていく。 ◎やってみよう編（15回）： 「しろろ・まなぼう編」「かたろう・つづろう編」をふまえ、参加者自身が興味関心をもち、実際に「やってみよう」と思う事柄について、実際に提案、企画、運営をおこなう講座。それぞれの企画については、できるだけ障壁が少なく、気軽に実現できる方法で実施することで、参加者の日本語活用に対する自信と学習へのモチベーションとなるよう工夫する。また、市内の公共施設、地域の商店会や市民団体に協力を仰ぎながら活動を実施することで、地域社会とのつながりを深め、地域の人々にも活動を認識してもらうきっかけとする。 ◎そうだんしてみよう編（25回）： 若者が日本語についての課題や、日本語学習についての相談ができる場を設ける。日本語について感じていたちょっとした疑問を解決したり、行政手続きの書き方をサポートしたり、日常生活の細かな日本語の支援をおこなう。また、必要があれば、参加者に適した日本語教室や地域の日本語活動などの紹介をおこなったり、地域の若者支援機関への引継ぎをおこなう。							
		空白地域を含む場合、空白地域での活動	該当なし							
	□ 取組による体制整備		3年間の取組の蓄積を活用しながら、地域の市民団体・NPOや商店会、中間支援組織、行政関連部局、大学関係者など専門家らと連携し、若者の日本語教育ニーズに応じながら柔軟に対応し、地域で包括的に若者を支援するゆるやかなネットワークを形成する。							
	取組による日本語能力の向上		参加者が、自らの興味関心に沿った形での知識を取り入れたうえで、多様な日本語表現・発信、実現することの可能な場を設けることで、学校現場や職場では実現しにくい日本語習得の実現され、今後の日本語学習への一層のモチベーションへとつながる。また、成果物が目に見える形で手元に残ることで、自信へとつながる。							
	参加対象者		外国にルーツをもつ若者				参加者数 （内 外国人数）		34人 （34人）	
	広報及び募集方法		協会ホームページ、Facebook、チラシ、近隣学校機関からの紹介、市町部局からの紹介、豊中市広報誌、市内公共施設へのチラシの配布など							
	開催時間数		総時間 218.75時間（空白地域 0時間）				1回 2時間 × 42 回（とびだすにほんご～相談してみよう～編） （42回のうち、2時間×33回、1.5時間×1回、3時間×2回、3.25時間×1回、3.5時間×2回、3.75時間×1回、4.25時間×1回） 1回 3時間 × 42 回（とびだすにほんご～知ろう、語ろう、やってみよう～編）			
	主な連携・協働先		近隣高等学校、夜間中学校、若者サポートステーション、教育委員会、地域若者支援NPO、地域市民団体、商店会、青年会議所、							
	開催場所		とよなか国際交流センター、地域公共施設、コミュニティカフェ、など							
	参加者の出身・国別内訳 （人数）		中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル
			4	5	2	1	5	2	2	0
			パキスタン（1人）、フランス（1人）、ペルー（7人）、イギリス（2人）、ベナン（1人）、オランダ（1人）							
実施内容										
〇とびだすにほんご～相談してみよう編～										
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容		指導者名	補助者名	
1	平成28年5月21日 （土） 14:00～16:00	2	とよなか国際交流センター	2	やさしい日本語による生活上の課題に関するコミュニケーション（相談してみよう）	生活の不安を日本語で伝えて整理した。		植木美恵子	なし	
2	平成28年5月28日 （土） 14:00～16:00	2	とよなか国際交流センター	2	やさしい日本語による生活上の課題に関するコミュニケーション（相談してみよう）	就労における不安を日本語で伝え、労働法等の知識をやさしい日本語で学んだ。		ラポルテ雅樹	なし	
3	平成28年6月4日 （土） 14:00～16:00	2	とよなか国際交流センター	3	やさしい日本語による生活上の課題に関するコミュニケーション（相談してみよう）	アルバイトのしんどさを日本語で伝え、職場内の日本語によるコミュニケーション手法を学んだ。		ラポルテ雅樹	なし	
4	平成28年6月18日 （土） 14:00～16:00	2	とよなか国際交流センター	3	やさしい日本語による生活上の課題に関するコミュニケーション（相談してみよう）	家族関係に関するしんどさを日本語で伝えた。		ラポルテ雅樹 植木美恵子	なし	
5	平成28年6月25日 （土） 14:00～16:00	2	とよなか国際交流センター	2	やさしい日本語による生活上の課題に関するコミュニケーション（相談してみよう）	家族関係に関するしんどさを日本語で伝えた。		植木美恵子	なし	

6	平成28年7月2日 (土) 14:00～16:00	2	とよなか国際交 流センター	2	やさしい日本語による生活 上の課題に関するコミュニ ケーション(相談してみよう)	学校生活における部活のしんどさを日 本語で伝えた。	ラポルテ雅樹	なし
7	平成28年7月9日 (土) 14:00～16:00	2	とよなか国際交 流センター	2	やさしい日本語による生活 上の課題に関するコミュニ ケーション(相談してみよう)	友人関係をめぐるトラブルについて日 本語で伝えて整理した。	植木美恵子	なし
8	平成28年7月16日 (土) 14:00～16:00	2	とよなか国際交 流センター	3	やさしい日本語による生活 上の課題に関するコミュニ ケーション(相談してみよう)	職場のしんどさを日本語で伝えて整理 した。	ラポルテ雅樹	なし
9	平成28年7月23日 (土) 14:00～16:00	2	とよなか国際交 流センター	2	やさしい日本語による生活 上の課題に関するコミュニ ケーション(相談してみよう)	生活の不安を日本語で伝えて整理し た。	植木美恵子	なし
10	平成28年8月6日 (土) 14:00～16:00	2	とよなか国際交 流センター	3	やさしい日本語による生活 上の課題に関するコミュニ ケーション(相談してみよう)	眠れないことのしんどさを日本語で伝 えた。	ラポルテ雅樹	なし
11	平成28年8月13日 (土) 14:00～16:00	2	とよなか国際交 流センター	2	やさしい日本語による生活 上の課題に関するコミュニ ケーション(相談してみよう)	恋愛をめぐるしんどさ、不安について 日本語で伝え、課題を整理した。	植木美恵子	なし
12	平成28年8月20日 (土) 14:00～16:00	2	とよなか国際交 流センター	3	やさしい日本語による生活 上の課題に関するコミュニ ケーション(相談してみよう)	労働災害をめぐるトラブルを日本語で 伝え、対応方法をやさしい日本語で学 んだ。	ラポルテ雅樹	なし
13	平成28年8月27日 (土) 14:00～16:00	2	とよなか国際交 流センター	2	やさしい日本語による生活 上の課題に関するコミュニ ケーション(相談してみよう)	学校生活における友人関係のしんど さを日本語で伝えた。	植木美恵子	なし
14	平成28年9月3日 (土) 14:00～16:00	2	とよなか国際交 流センター	3	やさしい日本語による生活 上の課題に関するコミュニ ケーション(相談してみよう)	生活の不安を日本語で伝えて整理し た。	ラポルテ雅樹	なし
15	平成28年9月10日 (土) 14:00～16:00	2	とよなか国際交 流センター	2	やさしい日本語による生活 上の課題に関するコミュニ ケーション(相談してみよう)	学校進学に関する不安を日本語で伝 え、課題整理を行った。	ラポルテ雅樹 植木美恵子	なし
16	平成28年9月17日 (土) 14:00～16:00	2	とよなか国際交 流センター	2	やさしい日本語による生活 上の課題に関するコミュニ ケーション(相談してみよう)	就労に関する不安を日本語で伝えた。	ラポルテ雅樹	なし
17	平成28年9月24日 (土) 14:00～16:00	2	とよなか国際交 流センター	2	やさしい日本語による生活 上の課題に関するコミュニ ケーション(相談してみよう)	家族・仕事など複合した課題について 日本語で伝えて、課題整理を行った。	植木美恵子	なし
18	平成28年10月1日 (土) 14:00～16:00	2	とよなか国際交 流センター	2	やさしい日本語による生活 上の課題に関するコミュニ ケーション(相談してみよう)	「男らしさ」に関する悩みについて日本 語で伝えて、ジェンダーの視点から課 題整理を行った。	ラポルテ雅樹	なし
19	平成28年10月8日 (土) 14:00～16:00	2	とよなか国際交 流センター	2	やさしい日本語による生活 上の課題に関するコミュニ ケーション(相談してみよう)	家族関係に関するしんどさを日本語で 伝えた。	植木美恵子	なし
20	平成28年10月15日 (土) 14:00～16:00	2	とよなか国際交 流センター	3	やさしい日本語による生活 上の課題に関するコミュニ ケーション(相談してみよう)	生活の不安を日本語で伝えて整理し た。	植木美恵子	なし
21	平成28年10月22日 (土) 14:00～16:00	2	とよなか国際交 流センター	2	やさしい日本語による生活 上の課題に関するコミュニ ケーション(相談してみよう)	生活の不安を日本語で伝えて整理し た。	ラポルテ雅樹	なし
22	平成28年11月5日 (土) 14:00～16:00	2	とよなか国際交 流センター	2	やさしい日本語による生活 上の課題に関するコミュニ ケーション(相談してみよう)	生活の不安を日本語で伝えて整理し た。	ラポルテ雅樹	なし
23	平成28年11月12日 (土) 14:00～16:00	2	とよなか国際交 流センター	2	やさしい日本語による生活 上の課題に関するコミュニ ケーション(相談してみよう)	生活の不安を日本語で伝えて整理し た。	植木美恵子	なし
24	平成28年11月19日 (土) 14:00～16:00	2	とよなか国際交 流センター	3	やさしい日本語による生活 上の課題に関するコミュニ ケーション(相談してみよう)	アルバイトのしんどさを日本語で伝え て、職場内のコミュニケーション手法を 学んだ。	ラポルテ雅樹	なし
25	平成28年11月26日 (土) 14:00～16:01	2	とよなか国際交 流センター	2	やさしい日本語による生活 上の課題に関するコミュニ ケーション(相談してみよう)	学校生活における友人関係のしんど さを日本語で伝えた。	植木美恵子	なし
26	平成28年12月3日 (土) 14:00～16:00	2	とよなか国際交 流センター	2	やさしい日本語による生活 上の課題に関するコミュニ ケーション(相談してみよう)	家族関係に関するしんどさを日本語で 伝えた。	ラポルテ雅樹	なし
27	平成28年12月10日 (土) 14:00～16:00	2	とよなか国際交 流センター	2	やさしい日本語による生活 上の課題に関するコミュニ ケーション(相談してみよう)	生活の不安を日本語で伝えて整理し た。	ラポルテ雅樹	なし
28	平成28年12月17日 (土) 14:00～16:00	2	とよなか国際交 流センター	2	やさしい日本語による生活 上の課題に関するコミュニ ケーション(相談してみよう)	眠れないことのしんどさを傾聴し、改 善方法を伝えた。	植木美恵子	なし
29	平成28年12月24日 (土) 14:00～16:00	2	とよなか国際交 流センター	3	やさしい日本語による生活 上の課題に関するコミュニ ケーション(相談してみよう)	家族関係に関するしんどさを日本語で 伝えた。	植木美恵子	なし
30	平成29年1月7日 (土) 14:00～15:00	1	とよなか国際交 流センター	2	やさしい日本語による生活 上の課題に関するコミュニ ケーション(相談してみよう)	生活の不安を日本語で伝えて整理し た。	植木美恵子	なし
31	平成29年1月14日 (土) 14:00～16:00	2	とよなか国際交 流センター	2	やさしい日本語による生活 上の課題に関するコミュニ ケーション(相談してみよう)	家族関係に関するしんどさを日本語で 伝えた。	ラポルテ雅樹	なし
32	平成29年1月21日 (土) 17:30～20:30	3	とよなか国際交 流センター	2	やさしい日本語による生活 上の課題に関するコミュニ ケーション(相談してみよう)	生活の不安を日本語で伝えて整理し た。	植木美恵子	なし
33	平成29年2月4日 (土) 14:00～15:30	1.5	とよなか国際交 流センター	2	やさしい日本語による生活 上の課題に関するコミュニ ケーション(相談してみよう)	学校進学に関する不安を日本語で伝 えて、課題整理を行った。	ラポルテ雅樹 植木美恵子	なし
34	平成29年2月4日 (土) 17:15～21:0 0	3.75	とよなか国際交 流センター	3	やさしい日本語による生活 上の課題に関するコミュニ ケーション(相談してみよう)	就労に関する不安を日本語で伝えた。	ラポルテ雅樹	なし
35	平成29年2月11日 (土) 17:00～21:15	4.25	とよなか国際交 流センター	2	やさしい日本語による生活 上の課題に関するコミュニ ケーション(相談してみよう)	恋愛をめぐるしんどさを日本語で伝え て、課題を整理した。	植木美恵子	なし

36	平成29年2月18日 (土) 14:00～16:00	2	とよなか国際交 流センター	2	やさしい日本語による生活 上の課題に関するコミュニ ケーション(相談してみよう)	生活の不安を日本語で伝えて整理し た。	ラボルテ雅樹	なし
37	平成29年2月18日 (土) 17:00～20:0 0	3	とよなか国際交 流センター	2	やさしい日本語による生活 上の課題に関するコミュニ ケーション(相談してみよう)	家族関係に関するしんどさを日本語で 伝えた。	ラボルテ雅樹	なし
38	平成29年2月25日 (土) 14:00～16:00	2	とよなか国際交 流センター	3	やさしい日本語による生活 上の課題に関するコミュニ ケーション(相談してみよう)	家族関係に関するしんどさを日本語で 伝えた。	植木美恵子	なし
39	平成29年2月25日 (土) 17:00～20:30	3.5	とよなか国際交 流センター	2	やさしい日本語による生活 上の課題に関するコミュニ ケーション(相談してみよう)	生活の不安を日本語で伝えて整理し た。	植木美恵子	なし
40	平成29年3月4日 (土) 17:15～20:30	3.25	とよなか国際交 流センター	2	やさしい日本語による生活 上の課題に関するコミュニ ケーション(相談してみよう)	恋愛やそれに付随するデートDVなど について、日本語のキーワードを学習 しながら会話・交流を行った。	植木美恵子 ラボルテ雅樹	なし
41	平成29年3月11日 (土) 14:00～16:00	2	とよなか国際交 流センター	3	やさしい日本語による生活 上の課題に関するコミュニ ケーション(相談してみよう)	進路に関する日本独特のシステムに ついて、やさしい日本語で学びながら 生活用語を学んだ。	植木美恵子	なし
42	平成29年3月11日 (土) 17:00～20:30	3.5	とよなか国際交 流センター	2	やさしい日本語による生活 上の課題に関するコミュニ ケーション(相談してみよう)	就職活動に関する日本社会のしんどさを やさしい日本語で学びながら、自分の 気持ちを整理して伝えた。	植木美恵子	なし

〇とびだすにほんご～たまりは編(しろう・かたろう・やってみよう)～

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容	指導者名	補助者名
1	平成28年5月14日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	10	自己紹介	参加者同士が日本語で自己紹介をし 合い、自分の長所や短所を表す日本 語を学んだ。	金和永(コー ディネーター兼 務)	なし
2	平成28年5月21日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	11	国際交流フェスタについて ①	国際交流フェスタへの出店を話し合う ことで、イベントに関するにほんごを学 んだ。	金和永(コー ディネーター兼 務)	なし
3	平成28年5月28日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	5	国際交流フェスタについて ②	国際交流フェスタへの出店を話し合う ことで、イベントに関するにほんごを学 んだ。	金和永(コー ディネーター兼 務)	なし
4	平成28年6月4日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	9	「みんなのやりたいこと」	「やりたいこと」をテーマに、仮定や未 来形でのにほんごを学んだ。	金和永(コー ディネーター兼 務)	なし
5	平成28年6月11日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	8	「日本の試験」	「日本の試験」をテーマに、試験全般 に関するにほんごを学んだ。	金和永(コー ディネーター兼 務)	なし
6	平成28年6月18日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	12	「アルバイトって？」	「アルバイトって？」をテーマに、働くこ とに関するにほんごを学んだ。	金和永(コー ディネーター兼 務)	なし
7	平成28年6月25日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	6	悩み相談会	お互いに相談することを通して、相談 する／されることの理解を深め、相談 に関するにほんごを学んだ。	金和永(コー ディネーター兼 務)	なし
8	平成28年7月2日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	4	パスタづくり	調理と交流を通して、飲食・調理に関 するにほんごを学んだ。	金和永(コー ディネーター兼 務)	なし
9	平成28年7月9日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	9	ボードゲーム	日本や海外のボードゲームについて 話し合うことで、遊びを通した多文化 理解を深め、関連するにほんごを学ん だ。	金和永(コー ディネーター兼 務)	なし
10	平成28年7月16日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	9	チャーハンづくり	調理と交流を通して、飲食・調理に関 するにほんごを学んだ。	金和永(コー ディネーター兼 務)	なし
11	平成28年7月23日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	12	玉子焼きとみそ汁づくり	調理と交流を通して、飲食・調理に関 するにほんごを学んだ。	金和永(コー ディネーター兼 務)	なし
12	平成28年8月6日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	4	パッタイづくり(タイ料理)	調理と交流を通して、飲食・調理に関 するにほんごを学んだ。	金和永(コー ディネーター兼 務)	なし
13	平成28年8月13日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	6	「好きな音楽は？」	参加者の好きな音楽を話し合うことを 通して、関連するにほんごを学んだ。	山本房代(謝金 の支払いなし)	なし
14	平成28年8月20日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	6	ピアノ演奏会	ピアノ演奏を聴くことを通して、感想の 伝え方に関するにほんごを学んだ。	金和永(コー ディネーター兼 務)	なし
15	平成28年8月27日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	7	やきうどんづくり	調理と交流を通して、飲食・調理に関 するにほんごを学んだ。	金和永(コー ディネーター兼 務)	なし
16	平成28年9月3日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	5	「最近成し遂げたことは？」	「最近成し遂げたこと」をテーマに、過 去形でにほんごを学んだ。	山本房代(謝金 の支払いなし)	なし
17	平成28年9月10日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	6	国際交流フェスタふりかえり	国際交流フェスタの参加をふりかえる ことで、関連するにほんごを学んだ。	山本房代(謝金 の支払いなし)	なし
18	平成28年9月17日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	5	「ともだちってなんだろう？」	「ともだちってなんだろう？」をテーマ に、相互相談を合わせながら関連する にほんごを学んだ。	金和永(コー ディネーター兼 務)	なし
19	平成28年9月24日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	6	「嫌な気持ちになったとき は？」	「嫌な気持ちになったときは？」をテー マに、関連するにほんごを学んだ。	山本房代(謝金 の支払いなし)	なし
20	平成28年10月1日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	5	やきそばづくり	調理と交流を通して、飲食・調理に関 するにほんごを学んだ。	金和永(コー ディネーター兼 務)	なし
21	平成28年10月8日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	9	ダンスを学ぼう	ダンスを通して、動作などに関するに ほんごを学んだ。	金和永(コー ディネーター兼 務)	なし
22	平成28年10月15日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	9	多文化フェスについて①	多文化フェスへの出店を話し合うこと で、イベントに関するにほんごを学ん だ。	山本房代(謝金 の支払いなし)	なし

23	平成28年10月22日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	9	揚げぎょうざづくり	調理と交流を通して、飲食・調理に関 するにほんごを学んだ。	金和永(コー ディネーター兼 務)	なし
24	平成28年11月5日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	12	多文化フェスについて②	多文化フェスへの出店を話し合うこと で、イベントに関するにほんごを学ん だ。	金和永(コー ディネーター兼 務)	なし
25	平成28年11月12日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	8	カレーづくり	調理と交流を通して、飲食・調理に関 するにほんごを学んだ。	金和永(コー ディネーター兼 務)	なし
26	平成28年11月19日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	9	多文化フェスふりかえり	多文化フェスタの参加をふりかえるこ とで、関連するにほんごを学んだ。	金和永(コー ディネーター兼 務)	なし
27	平成28年11月26日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	8	きのこほうれん草の Pasta づくり	調理と交流を通して、飲食・調理に関 するにほんごを学んだ。	金和永(コー ディネーター兼 務)	なし
28	平成28年12月3日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	2	きつねうどんづくり	調理を通して、飲食・調理に関するに ほんごを学んだ。参加者同士の交流 を行った。	山本房代(謝金 の支払いなし)	なし
29	平成28年12月10日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	7	「恋愛ってなんだろう？」	「恋愛ってなんだろう？」をテーマに、 デートDV防止を射程にしながら、関連 するにほんごを学んだ。	金和永(コー ディネーター兼 務)	なし
30	平成28年12月17日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	4	ホットケーキづくり	調理を通して、飲食・調理に関するに ほんごを学んだ。参加者同士の交流 を行った。	山本房代(謝金 の支払いなし)	なし
31	平成28年12月24日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	8	たまりばクリスマス会	自主クリスマス会の開催を通して、催 事料理にちなんだにほんごを学んだ。	金和永(コー ディネーター兼 務)	なし
32	平成28年1月7日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	5	たまりば新年会	お正月の出来事、新年の抱負などを テーマに関連するにほんごを学んだ。	山本房代(謝金 の支払いなし)	なし
33	平成28年1月14日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	3	野菜炒めづくり	調理を通して、飲食・調理に関するに ほんごを学んだ。参加者同士の交流 を行った。	山本房代(謝金 の支払いなし)	なし
34	平成28年1月21日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	7	豆腐ハンバーグづくり	調理を通して、飲食・調理に関するに ほんごを学んだ。参加者同士の交流 を行った。	金和永(コー ディネーター兼 務)	なし
35	平成28年1月28日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	5	フィリピンを学ぼう	フィリピンNGO職員と交流することで、 日本国内外の社会情勢をにほんごで やさしく学び、アドボなどのフィリピン 料理をつくることで交流した。	山本房代(謝金 の支払いなし)	なし
36	平成28年2月4日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	4	「わたしらしさ」ってなんだろ う？	「わたしらしさ」をテーマに、自尊 重の技術を学び、関連するにほんごを 学んだ。	山本房代(謝金 の支払いなし)	なし
37	平成28年2月11日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	7	おやこどんづくり	調理を通して、飲食・調理に関するに ほんごを学んだ。参加者同士の交流 を行った。	金和永(コー ディネーター兼 務)	なし
38	平成28年2月18日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	7	うどん鍋づくり	調理を通して、飲食・調理に関するに ほんごを学んだ。参加者同士の交流 を行った。	金和永(コー ディネーター兼 務)	なし
39	平成28年2月25日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	6	「最近、夢中になっているこ とは？」	「最近、夢中になっていることは？」を テーマに、表現に関するにほんごを学 んだ。	金和永(コー ディネーター兼 務)	なし
40	平成28年3月4日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	8	報告会のふりかえり	報告会での「性について」を共有する ことで、保健衛生に関するにほんごを やさしく学んだ。	金和永(コー ディネーター兼 務)	なし
41	平成28年3月11日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	7	ホワイトシチューづくり	調理を通して、飲食・調理に関するに ほんごを学んだ。参加者同士の交流 を行った。	金和永(コー ディネーター兼 務)	なし
42	平成28年3月18日 (土) 17:00～20:00	3	とよなか国際交 流センター	0	-	-	山野上隆史(謝 金の支払いな し)	なし

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

※2回分を詳細に記載。また、活動内容を示す写真を本報告書に添付

○取組事例①

【第4回 28年6月4日】

「みんなのやりたいこと」をテーマに、これから1年活動でやりたい事や自分の将来のことについて仮定や未来形でのにほんごを学んだ。自分の思いを言葉にする作業は最初は難しい様子だったが、これからの活動に自分のやりたい事が反映されるかもしれないという期待が受講者の発言を活発にさせた。6月18日の「アルバイトって？」や8月6日の「パッタイづくり」はこの時の受講者のアイディアや要望を反映させた。

写真を貼



写



○取組事例②

【第13回 28年8月13日】

「好きな音楽は？」をテーマに参加者の好きな音楽を話し合うことを通して、関連する日本語を学んだ。自分の好きな音楽を持ち寄ることで普段は話さないそれぞれの趣味の話で盛り上がった。具体的に学んだ単語は 洋楽 邦楽 Aメロ Bメロ サビ J-POP など。

写真



写真を



(2) 目標の達成状況・成果

※検証方法(アンケートや評価等)も含めて具体的に記載すること。

日本語を通じて自分の気持ちや思い、考えを同世代の外国人と繰り返し共有することで相手の立場や考えをお互い尊重しあうことが出来た。話の他にも料理作りなどの作業を通して楽しい時間を過ごし、外国人の若者が安心・安全に集うことができ、結果として、日本語を通じた交流を気軽におこなうことが出来た。回を追うごとに互いの興味関心への理解が深まり、「好き」「嫌い」でしかなかった表現が「なぜ好きなのか」「どうして好きになったのか」と、自分を表現する言葉もより深くなっていった。これは個人の自信につながり、活動内容への満足度で現れており、アンケートからもそれが読み取れる。

(3) 今後の改善点について

※取組の内容や実施体制などについて改善すべき点を具体的に記載すること。

今後は自らの興味関心・ニーズをより表現し、活動の企画から実施・運営までをおこなう中で、日本語力を活用しながら地域社会とつながり自信を持って生活できるように活動を拡大していく。

取組3

取組の名称		～つなげるにほんご～わかもの活動ボランティア養成講座									
取組の目標		1. 持続可能な活動のあり方を念頭に、活動運営にかかわる人材を育成する 2. ボランティアとして活動にかかわる人と、コーディネーターや指導者として運営主体となる人へ、それぞれの必要に応じた研修を提供する 3. 若者特有の日本語教育の課題や活動のあり方について議論を深め、これまでの日本語教育活動の形式にとらわれない新しい形の活動形態の構築を模索する。									
取組の内容		今後の活動を持続可能なものへと発展させるため、次世代につながる若者への日本語教育を担う人材を養成する。活動の持続可能性を念頭に、ボランティアとして活動の補助にかかわる人たちの養成と、今後コーディネーターや指導者として運営主体となる人の養成など、数種類の講座を実施する。日本語教育活動をするうえで必要な知識や技術についての内容はもちろん、市民活動についてやボランティアコーディネートなどについても学ぶ講座とする。また、若者世代における日本語教育活動については、各地域で取組がなされているものの、全国的にも若者が主体となって企画運営をおこなう活動モデルはまだ少ない。本取組では、各地域の取組を参考にしつつ、地域において若者が主体となって取り組むことのできる日本語教育活動事業のモデルケースとなるような、新たな活動のあり方を模索する。 なお、ボランティア養成講座における視察は合計3回・5団体に実施する(1回あたり1～2団体)。1団体ごとの内容は、概要や背景の説明などの講義2時間、クラス運営やケースの紹介などの専門的講義2時間(活動見学も含む)の合計4時間のプログラムを実施する。 ●わかもの活動ボランティア養成講座 ○ボランティア編(4回) 外国人の若者の日本語教育課題やそれを取り巻く社会環境などについて、総合的な知識を深めたうえで、実際に活動にかかわるうえで心構えや意識のあり方について学ぶ。また、実際に日本語教育活動を行う現場を視察することで、活動についてのイメージをもち、モチベーションを高める。 ＜講座例＞日本における外国人の現状・若者をとりまく環境とその支援のあり方について(1回)／ボランティア・市民活動ってなんだろう(1回)／日本語教育支援の現場をみてみよう(1回)※日本語教育行う地域の教室への視察／私たちの活動をデザインしてみよう(1回) ○日本語指導者編(4回) これまで子どもや若者への支援活動を行ったことのある経験者を対象に、日本語教育支援についてのより専門的な指導のあり方や知識を学ぶ。最初の講座終了後、期間をおいてからフォローアップ講座をおこなうことで、より効果的な指導方法や日本語教育の在り方を学ぶ。 ＜講座例＞若者に対する日本語教育の指導の現状(1回)／若者への日本語教育指導演習(1回)／地域の若者への日本語指導教室への視察(1回)／若者への日本語教育指導フォローアップ講座・指導の際の疑問点相談会など(1回)、 ○コーディネーター編(4回) 外国人の若者への日本語教育活動を、いかに持続可能で地域に根差した活動にしていけるか、という視点から、ボランティアコーディネーションをはじめとする、組織運営や市民活動のあり方を学ぶ。さらに、若者支援や若者を行う日本語教育先進地域への視察を参考に、自分たちの活動ではどのような日本語教育活動が可能か、今後の取組を考える。 ＜講座例＞外国人の若者の抱える日本語、生活等についての諸課題(1回)／ボランティアコーディネーションの基礎(1回)／若者支援活動の先進事例に学ぶ(1回)※若者支援を行う先進地域市民活動団体への視察／私たちの活動をデザインしてみよう(1回) ●つなげるフェスタ(1回) 若者特有の日本語教育課題や活動のあり方について、新たな日本語教育活動の提案と活動の周知を目的としたフェスティバル形式の催しを、ボランティア・当事者が中心となって企画、運営する。実施にあたっては、2015年度に実施したフェスタの成果をふまえ、ボランティア・当事者がフェスタ参加者と対話や意見交流を交わせるような形式の地域市民参加型のイベントとして実施する。									
	空白地域を含む場合、空白地域での活動										
取組による体制整備		各養成講座において、地域の日本語教室ボランティアや日本語学校講師、近隣大学の日本語講師養成部門などを講座の指導者に招き、地域で日本語活動に関わる人たちとのゆるやかなネットワークをつくるきっかけとする。さらに、大学関係機関や市民団体、市内の公共施設などに呼びかけ、講座への参加者を募ることで市民レベルの日本語教育活動の担い手を増やしていく。また、各地の取組の視察を行うことで、自治体レベルを超えた広域的な日本語教育支援の連携体制を整備していく。 さらに、取組の成果の発表や活動周知を目的としたフェスタを実施し、地域市民や関係機関等の理解を深める。									
取組による日本語能力の向上		取組参加者は、主に日本人もしくは日本語をある程度習得した外国人を想定している。外国人当事者が活動の担い手として、ボランティアや日本語指導、活動コーディネーターの養成講座を受講した場合、活動運営についての専門的な日本語や行政、法律用語など、市民活動に必要な専門的な日本語の習得が見込まれる。									
参加対象者		地域市民				参加者数 (内 外国人数)		17人 (8人)			
広報及び募集方法		協会ホームページ、Facebook、チラシ、近隣学校機関からの紹介、市町部局からの紹介、豊中市広報誌、市内公共施設へのチラシの配布など									
開催時間数		総時間 30 時間(空白地域 0 時間)				1回 1.5～3時間 × 14 回 うち報告会 1回 1.5 時間 × 1 回					
主な連携・協働先		近隣大学、日本語学校、地域市民団体、若者支援NPO、地域日本語教室、									
開催場所		とよなか国際交流センター、日本語活動や若者支援活動を実践する団体(視察時)									
参加者の出身・国別内訳 (人数)		中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル		
		0	0	0	1	1	1	1	0		
		フランス(1人)、イギリス(2人)、アメリカ(1人)、日本(9人)									

実施内容

○ボランティア・コーディネーター研修

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容	指導者名	補助者名
1	平成28年9月4日 (日) 14:00～17:00	3	らいとびあ21(箕面市立萱野中央人権文化センター)	8	ボランティア・コーディネーター養成研修	地域の取組から学ぶ① 地域における子どもや若者への先駆的な取り組み実践を、実際に活動現場を視察しながら伺った。	中嶋嘉伸(代表理事)	なし
2	平成28年9月4日 (日) 17:30～19:00	1.5	らいとびあ21(箕面市立萱野中央人権文化センター)	8	ボランティア・コーディネーター養成研修	地域の取組から学ぶ② 先進地域での活動を視察し、自分たちの活動を相対化することで課題の洗い出しを実施。	中嶋嘉伸(代表理事)	なし

3	平成28年10月2日 (日) 14:00～17:00	3	とよなか国際交 流センター	14	ボランティア・コーディネ ーター養成研修	労働法などの社会教育を行うと同時に、関連題材を用いたやさしいにほんご教育を実施。(入門編)	ラボルテ雅樹	なし
4	平成28年10月2日 (日) 18:00～21:00	3	とよなか国際交 流センター	14	ボランティア・コーディネ ーター養成研修	労働法などの社会教育を行うと同時に、関連題材を用いたやさしいにほんご教育を実施。(実践編)	ラボルテ雅樹	なし
5	平成28年10月29日 (土) 15:00～17:00	2	とよなか国際交 流センター	6	ボランティア・コーディネ ーター養成研修	人とつちかう場づくり対話づくりについて① 大学の授業で用いる対話の題材を活用しながら、人とのコミュニケーションにあり方について考えた。	菊池健至	なし
6	平成28年10月29日 (土) 18:00～20:00	2	とよなか国際交 流センター	6	ボランティア・コーディネ ーター養成研修	人とつちかう場づくり対話づくりについて② 実際のコミュニケーション場面を想定しながら、参加者同士で対話表現の実践を行った。	菊池健至	なし
7	平成28年12月4日 (日) 15:00～17:00	2	とよなか国際交 流センター	6	ボランティア・コーディネ ーター養成研修	「自分まる！性って人に決められること？」多様性について考える① 性の多様性について考えることを通じて、外国人など社会的マイノリティのおかれた現状に目を向け、外国人への日本語支援について考える。	田中一步	近藤孝子(謝 金の支払いなし)
8	平成28年12月4日 (日) 17:00～19:00	2	とよなか国際交 流センター	6	ボランティア・コーディネ ーター養成研修	「自分まる！性って人に決められること？」多様性について考える② 参加者同士で、意見を出し合いながら、多様な生活背景をもつ参加者が集う日本語活動のよりよいあり方について考える。	田中一步	近藤孝子(謝 金の支払いなし)
9	平成29年2月5日 (日) 15:00～17:00	2	とよなか国際交 流センター	7	ボランティア・コーディネ ーター養成研修	識字・日本語教室の運営と実践のあり方① 識字・日本語教室の運営経験や参加者との交流のあり方をきき、よりよい日本語活動について考える。	阿部寛	なし
10	平成29年2月5日 (日) 17:00～19:00	2	とよなか国際交 流センター	7	ボランティア・コーディネ ーター養成研修	識字・日本語教室の運営と実践のあり方② 識字・日本語教室の運営経験や参加者との交流の手法を実践し、日本語活動について考える。	阿部寛	なし
11	平成29年3月4日 (土) 17:00～18:15	1.25	とよなか国際交 流センター	8	ボランティア・コーディネ ーター養成研修	相談員の手法から学ぶ～参加者に寄り添った傾聴方法とやさしい日本語でのコミュニケーション	金湖蓮	なし
12	平成29年3月5日 (土) 15:00～18:00	3	とよなか国際交 流センター	4	ボランティア・コーディネ ーター養成研修	識字・日本語教室の運営と実践のあり方③ 識字・日本語教室の実践手法を体験し、自分たちの活動にどのように反映するか意見を出し合う。	阿部寛	なし
○活動報告会&つながりワークショップ								
1	平成29年3月4日 (土) 13:00～14:30	1.5	とよなか国際交 流センター	17	報告会	地域市民や外国人当事者、これまでの支援してくださった方に向けた、1年間の活動成果の報告と今後の課題について発表し、意見交流を行った。	発表者: 金和永、垣花慧、植木美恵子、ラボルテ雅樹	なし
2	平成29年3月4日 (土) 15:00～16:45	1.75	とよなか国際交 流センター	9	つながりワークショップ ～いっしょに考えてみよう・恋愛にまつわるエトセトラ～	報告会の一環として、外国にルーツをもつ若者を中心とした地域市民に向けて、特に若者に関心の深いと思われる「恋愛」をテーマにワークショップを行った。	金湖蓮	植木美恵子

(1)特徴的な活動風景

※2回分を詳細に記載。また、活動内容を示す写真を本報告書に添付

○取組事例①

【第1回 28年9月4日】

らいとびあ21(箕面市立萱野中央人権文化センター)を訪れボランティア・コーディネーター養成研修を行った。茅野地区における地域の子どもの若者への先駆的な取り組み実践を、実際に活動現場である街を歩きながら視察した。地域の同年代の若者とも交流を深め、参加者はそれぞれ自分の活動にどう活かすか語り合った。

写真



写真を



○取組事例②

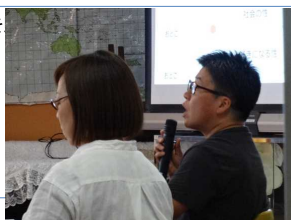
【第7回 28年12月4日】

「自分まる！性って人に決められること？」

絵本「自分まる！」の田中一步さんに来ていただきお話を聞いた。

性の多様性について自分は自分でいいというメッセージを絵本を通じて学んだ。このメッセージは外国人など社会的マイノリティのおかれた人たちにも通じるものであり、参加した若者たちは深く共感していた。セクシャルマイノリティと外国人の若者という別々の存在としてではなく、同じ人として、自分は自分でいいという価値観でつながることが出来た。この出会いにより参加者の若者は自分たちについてあらためて見つめる事ができ、日々の活動に活かすことが出来た。

写真を



写



(2) 目標の達成状況・成果

※検証方法(アンケートや評価等)も含めて具体的に記載すること。

この一年で様々な人の話を聞き、活動の運営に関わる若者の意識は高まった。これはアンケートの結果にも反映されている。また一年を通じて労働にかかわる事やセクシャルマイノリティにかかわる事など幅広い方の話を聞くことが出来た。来る人それぞれが立場や考えが違うものの、それらに関係なく普遍的に大切なものを参加した若者は感じる事が出来た。

(3) 今後の改善点について

※取組の内容や実施体制などについて改善すべき点を具体的に記載すること。

今年度の研修では参加した若者それぞれが大切な事を感じる事ができたが、すべてを言葉にすることはできなかった。来年以降でそれらの感じたことを咀嚼し言葉にし共有することで、より豊かな活動にしていきたい。

4. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的・目標

1. 外国人の若者が、安心して自らの生活上のニーズ(日本語、生活、労働など)を話し相談できる「居場所」を提供し、生活や自己表現を行う際に必要な日本語力を身につける。
2. (1)で身につけた日本語力を活用し、地域貢献や社会参画のきっかけとなるような、地域活動を自ら企画・運営する。
3. 潜在的に困難を抱えていると思われるが、活動につながらない外国人の若者との関係を構築／再構築し、(1)や(2)などその若者のニーズのそつた活動への橋渡しを行う。

(2) 目的・目標の達成状況・事業の成果 ※「2. 事業の目的」を転記してください。

1. について、外国人の若者がコンスタントにかかわれる安心できる居場所が提供できた。また参加者が安心して様々な話が飛び出し、生活上のニーズ(日本語、生活、労働など)を話し相談でき、生活や自己表現を行う際に必要な日本語力を身につけることが出来た。
2. について、身につけた日本語力を活用しながら地域貢献や社会参画のきっかけとなるような、地域活動を自ら企画し参加することが出来た。
3. について、参加者はもちろん、関わっている人や機関を通じ、新しい若者と繋がる事が出来た。また、かつて関わっていた若者に声をかけて改めてつながり直し、活動に参加してもらうことが出来た。

※3つの取組を通して得られた成果について検証方法も含めて

(3) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

定時制高校との連携の中でつながった若者が一年を通して日本語を学ぶことが出来た。またその若者の状況を共有するため定期的に定時制高校と連絡をとるようになり、連携が深まった。

(4) 事業実施に当たっての周知・広報と、事業成果の地域への発信等について

チラシを各関係機関や地域に配布、配架し周知した。また若者を通じて人づてにもつながりが広がった。

(6) 改善点、今後の課題について

今後はすでにつながっている関係機関や人とはより深く、繋がっていないところには手を伸ばしながらこの取り組みの枠を広げていきたい。参加者が増える事を目指しながら、その一人一人への対応はよりきめ細かく行っていきたい。そのためにもボランティアやコーディネーターへ向けバラエティに富んだ研修を企画し、質を向上させていきたい。

(7) その他参考資料

・3つの取組を通しての本年度の事業で見えてきた新たな課題や今後の改善点について